

令和8年度九州ブロック保健師等研修会 プログラム

テーマ：誰もが健康で幸せに暮らせる地域社会の実現に向けて ～2040年に向けた保健師の挑戦～

時間	配分	内容
10:30～	10分	開会 開会挨拶 宮崎県福祉保健部 次長（保健・医療担当） 久保 範通
10:40～	40分	【講演Ⅰ】 「地域保健行政の動向と保健師の役割～保健師活動指針の改正の概要を中心に～」 厚生労働省健康・生活衛生局健康課保健指導室 室長 後藤 友美
11:20～	60分	【講演Ⅱ】 「公衆衛生の理念と戦略～保健師が果たすべき役割と期待される専門性～」 宮崎県中央保健所 所長（兼 宮崎県福祉保健部 衛生技監） 椎葉 茂樹
12:20～	10分	質疑応答
12:30～	70分	昼休憩
13:40～	70分	【講演Ⅲ】 「2040年を見据えた保健師活動におけるDX活用～今、保健師が取り組むべきこと～」 慶應義塾大学看護医療学部 地域看護学分野 教授 田口 敦子
14:50～	5分	質疑応答
14:55～	10分	休憩
15:05～	各報告 15分 15:05～ 15:20 15:20～ 15:35 15:35～ 15:50 質疑・GW 40分	【活動報告】 1) 「PHRを活用した生活習慣病等重症化予防の取り組み」 宮崎県都農町福祉課健康推進係 係長 安藤 優子 2) 「小さな自治体の大きな挑戦 ICTとケアパスによる保健事業改革 ～多久市の地区分析から～」 佐賀県多久市健康増進課 課長 堀田 美香、主任 太田 彩菜 3) 「持続可能な保健活動に向けた保健所DXの取り組みについて」 大分県福祉保健部 健康政策・感染症対策課 地域保健企画班 副主幹 井上 亜由美 質疑応答、グループワークを含む
16:30		閉会